

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 7年 3月 7日

公表:令和 7年 3月 20日

事業所名 ブロッサムジュニア流山教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・現在の利用人数に対してスペースが広く、子どもが走り易い環境にあります。引き続き、状況によって個別支援の部屋と集団支援の部屋を使い分けると共に、引き続き、落ち着いて過ごせるよう個別のルーティンを作るなどの対応をしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	○			・令和6年度、パート職員を増員しました。 ・引き続き、利用者の人数や特性を考えながら必要な人数に配置いたします。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・集団支援の部屋とは別に、青緑・ピンクの個別支援の部屋を設けています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・定期的に職員会議を実施し、支援内容の企画、個々の支援の状況等について意見交換を行い、業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・毎年、事業所評価アンケート調査を行いを実施し、業務改善につなげてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・LITALICO発達ナビのブログにて結果を公表するとともに、その旨、保護者の皆様にはニュースレターにてその旨お知らせしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			・引き続き、毎月、外部のスーパーバイザーとミーティングを実施し、その内容を職員間にも共有しております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・引き続き、研修や他事業所見学等の機会を設け参加を推進していくとともに、受講した研修内容については職員間で共有してまいります。 ・管理者や児発管以外の職員も流山市児童支援事業所連絡会に参加し、知識の向上に努めます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・アセスメントシートや保護者面談等で、ニーズや課題を把握し、客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・利用開始時にいただいている発達検査結果を元に、心理士等が状況を把握し、児童発達支援計画を作成しています。 ・定期的に脳バランサーキッズアプリを活用して、子どもの適応行動の状況を把握してまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・月1回プログラム会議を実施しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・過去のプログラム内容の振り返りも含め、プログラム会議において、様々な案を出し合いながら、内容を検討しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・平日、学校で過ごした後と、休日や長期休暇では生活のサイクルが違うため、それぞれに応じた課題に沿って支援しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			・子どもの状況に応じて、放課後等デイサービス計画を作成してまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・支援開始前に朝礼を行い、前日の状況、当日の支援の内容(集団の内容、個別療育の時間や担当、職員配置など)を共有しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・支援終了後に終礼を行い、当日の支援等のふりかえり、ヒヤリハット事例を確認しております。 ・引き続き、終礼で確認した事項等については業務日誌に記載し、その日のうちに職員間で共有いたします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・個別支援については日々活動記録をHUGに掲載し、保護者の方にも共有しております。 ・集団支援については、プログラム会議の際に情報を共有し、次月の支援につなげております。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			・利用者の方全員、定期的にモニタリングを行うと共に、モニタリングの状況について担当職員等と共有し、より良い支援に繋げていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			・ガイドラインに基づき活動プログラムを立てております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には、児発管と担当の職員が参画しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			・基本的には、保護者の方を通じて、行事予定や下校時刻の確認等をしております。 ・必要に応じて、学校を訪問をするなどして、連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			・引き続き、各関係機関と情報を共有してまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			・今まで対象のお子様はいらっしゃいませんでしたが、利用される際は情報提供等を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			・定期的に実施される、流山市児童支援事業所連絡会に参加し、情報交換や助言を受けております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・公園へ遊びに行くことは定期的にあるため、今後は機会があれば他児とのかかわりについても、関わりの一つとして提供できるよう検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			・定期的に実施される、流山市児童支援事業所連絡会に、積極的に参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・保護者の方がお迎えにいらっしゃる際に、状況を伝えあっております。 ・送迎時に Blossum での様子をつたえたり、家庭での様子を聞いたり、職員間で共有しております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			・保護者の方のお悩み事や相談ごとをお聞きするほか、ご家庭等での過ごし方などについて助言をさせていただいております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・利用開始時や保護者面談等で説明を行っています。 ・利用者さま全員に関わる事項などについては、R6. 5から毎月発行するニュースレターに、わかりやすく掲載するなどしてまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・送迎時にお声がけしたり、ラインを活用し連絡を取り合ったりするなど、保護者が話やすい雰囲気づくりをしています。	・必要な場合はお電話等だけでなく、面談の機会を設けるなどして、保護者の方からの相談に対応しております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・令和6年度は、ご家族も参加できる夏祭りを開催し、保護者同士が交流できるスペースを設けました。	・今後も、長期休暇などに、保護者の方も参加できるイベントを実施することを検討しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情の受付窓口は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・今後とも、毎月集団プログラム表を作成しているとともに、定期的に保護者向けニュースレターを作成し、活動概要等を発信してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○			・個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、個人情報の取り扱いについては、定期的に、周知徹底してまいります。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・その日に取り組む活動内容や流れなどが、視覚的に分かりやすくなるよう工夫しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・令和6年度は、ハロウィンの際にご協力いただき、地域の店舗をめぐりました。	・今後も、イベント等の際に地域と交流できるよう、検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・各種マニュアルを整備し、発生を想定した訓練を実施しております。概要につきましては、ニュースレター等で発信してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・定期的に避難訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・ Blossam ジュニア本部で実施する研修や外部研修に参加しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			・現在、身体拘束が必要な場面はなく、行わないこととしております。やむを得ず身体拘束を行うかについては組織的に検討し、対応してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			・アセスメントや保護者の方からの情報を基に対応しております。原則、食物アレルギーのあるお子様については、ご家庭でご用意いただいております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			・ヒヤリハット事故報告書を作成し、事業所内で共有しております。